

平成 30 年度

金婚夫婦 及び

一人金婚表彰式

- Golden Wedding Anniversary -

町と熊本日日新聞社の共催による平成30年度金婚夫婦表彰式と町主催の一人金婚表彰式が、9月5日に保健福祉センターはびねすで行われました。

今年度表彰を受けたのは、昭和43年に結婚し、50周年を迎えた78組のご夫婦と一人金婚の13人。金婚夫婦を代表して倉本憲夫・清子さんご夫婦(安永1町内)に町から、小田盛也・秀子さんご夫婦(寺中)に熊本日日新聞社から、一人金婚を代表して豊田静子さん(福富)に町から、それぞれ表彰状と記念品が贈られました。

西村町長は、「こうして、金婚を迎えられた皆様方の明るくお元気なお姿を拝見しておりますと、その表情からも共に歩んでこられた充実感をうかがい知ることが出来ます。また、

一人金婚式を迎えられた皆様におかれましては、最愛の伴侶を亡くされ、願わくば今日まで、共に手を取り合って50周年を迎えたかったという思いは、いかばかりかとお察しいたします。

町では、復興計画を策定し、震災からの復興に向け着実に取り組みを進めるとともに、現在多くの地域で、町民が主体となつたまちづくりが展開されており、皆様方のお力を頂きながら、全国の人々から羨望される町となるよう、私も精一杯力を尽くしてまいります」と祝辞を述べました。これに対し、住永幸三郎・絹子さんご夫婦(辻団地)が、「結婚してから半世紀、い

50年

ろいろの喜び楽しみがありました。反面、幾多の口に言い表せない苦労があったのも事実でございます。2年前は、親の時代も私どもの時代も経験したことのない熊本地震。家が倒れ、農地を失い、道路が寸断され、今なお仮設住宅で暮らしている方もたくさんいらっしゃいます。こういった中で、このような席を設けていただき、感謝に堪えません。これを期に、改めて新しい人生を送っていききたいと思えます」と謝辞を述べました。

また、一人金婚を代表し、深水博元さん(辻団地)が、「私たちが結婚しました昭和43年を振り返りますと、日本はGNP(国民総生産)がアメリカに次いで資本主義国2位となり、経済大国となった年でした。また、町では

空港建設の着工、45年には大型ジェット機就航などそんな年でした。途中で最愛の伴侶を亡くしたことは残念ですが、二人の協力、頑張りで本日の金婚式を迎えることができたと思えます。これから我々一同は、表彰を励みに微力ながら地域社会の発展のために尽くしていくことをお誓い申し上げます」と謝辞を述べました。

式終了後には、町立第1保育所の園児によるかわいらしい遊戯や、蓑田由美子さんとその教室の皆さんによる琴と尺八の美しい演奏が披露され、出席者たちは目を細めて喜んでいました。

記念の集合写真では照れながらも皆さん笑顔で臨みました

1表彰を受けた金婚夫婦の方々 2一人金婚の表彰を受けた方々

